

初級者のためのTOEIC対策講座Ⅱ

科目ナンバリング ENG-104
選択 2単位

吉田 浩二

1. 授業の概要(ねらい)

この授業ではTOEIC受験に向けた試験対策を行います。対象は現在350～400点レベル、英検準2級1次試験合格程度の学生を想定しています。『対策講座Ⅰ』で比較的軽い扱いに留めた難易度の高い問題にも挑戦します。全体的な正解率の向上を図りながら、学期末には450～500点レベルに到達することをめざしています。

2. 授業の到達目標

リスニング部門

- ①PART1(短文の聞き取り)→基本単語を正確に書き取ることができ、60～80%程度得点できる。
- ②PART2(典型的な質問→応答パターン)→場面に応じた定型表現に慣れ、60～80%程度得点できる。
- ③PART3&4(会話やスピーチの内容把握)→必要な情報のみに集中することで、30～40%程度得点できる。

リーディング部門

- ④PART5(文法・語彙問題)→基本事項を理解し、60～80%程度得点できる。
- ⑤PART6&7(長文問題・図表の読解など)→大意の把握を優先する速読に慣れ、必要な情報を探し出すコツをつかむことで、30～40%程度得点できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験100%で評価します。当然、期末試験で一定レベル(＝概ね、40点程度。その年の得点分布を考慮し、若干緩める場合あり。)に達しなければ、「不合格」となります。単位稼ぎには向きません。参考までに、2016年度受講者の単位修得率は約73%、2017年度は約82%、2018年度は約70%、2019年度は約74%でした。

4. 教科書・参考文献

教科書

北尾靖幸他 『一步上を目指すTOEIC Listening and Reading Test: Level 2 -Intermediate-』 朝日出版社

5. 準備学修の内容

春期の授業と同様、予め問題を解いてあることを前提にポイント解説を行います。やはり、復習を重視してください。リスニングについては、自信を持って「聞き取れた」と思えるまで、リーディングについては、基本単語の意味用法を確実に覚えらるるまで、念入りに行いましょう。長文については、完全に意味を理解するよりも、大意を把握しながら速読できるようにすることが大切です。

6. その他履修上の注意事項

今年度は、想定外の社会状況により、遠隔授業となる見込みです。例年の対面授業であれば、適正な授業環境確保のため人数制限(＝100名程度)していますが、今回に限り人数制限はありません。

ただし、この授業は「自己啓発」の一環として開講されている科目です。その意味を理解できていない学生は、履修しないでください。具体的には、この春学期の期末試験・追試験において不正行為を行った学生、不正まで行かなくとも「自己啓発」に相応しくない受験態度だった学生はお断りします。システム上、登録自体は可能ですが、単位を取れることはまずありません。

7. 授業内容

- 【第1回】 Guidance、春学期の復習
- 【第2回】 Unit 1: Eating Out 文法:動詞(1)
- 【第3回】 Unit 2: Travel 文法:動詞(2)
- 【第4回】 Unit 3: Amusement 文法:品詞
- 【第5回】 Unit 4: Meetings 文法:分詞
- 【第6回】 Unit 5: Personnel 文法:不定詞と動名詞(1)
- 【第7回】 Unit 6: Shopping 文法:不定詞と動名詞(2)
- 【第8回】 Unit 7: Advertisement 文法:仮定法
- 【第9回】 Unit 8: Daily Life 文法:受動態
- 【第10回】 Unit 9: Office Work 文法:代名詞
- 【第11回】 Unit 10: Business 文法:数量詞
- 【第12回】 Unit 11: Traffic 文法:接続詞
- 【第13回】 Unit 12: Finance and Banking 文法:前置詞
- 【第14回】 Unit 13: Media 文法:語彙
- 【第15回】 まとめと期末試験